

# はほまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.51  
2013.8



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取り組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

## 大盛況!! 第7回歯舞こんぶ祭り



<こんぶ祭りポスター>



<多くの人で賑わう市場内会場>



<ネット販売商品を購入するお客様>

歯舞産コンブの普及や料理などをPRする地域を挙げたイベント、「第7回歯舞こんぶ祭り」が8月25日(日)、歯舞漁港屋根付き岸壁と市場内で開催されました。

大漁旗で彩られた会場には、コンブ製品や料理、特産品が豊富に並び、3,500人の来場者が歯舞産コンブの美味しさを堪能しました。

飲食コーナーでは、「東灯(ともしび)」が昨年に引続き「昆布ラーメン」を出店した他にも、「ねむろ海陽亭」が歯舞産の細切り昆布を使用した「昆布焼きそば」を数量限定で出店し大変な盛況ぶりでした。初登場となった歯舞漁協女性部の手作り料理「昆布風味の鱈フライ」、「昆布そば・うどん・ごはん」も共に人気を呼びました。

また、焼き物販売・根室さんまロール寿司・長崎県上五島町漁協商品・ネット販売商品も販売し、列が途切れないほど好評でした。さらに、目玉となる歯舞産北海しまえびの販売では、浜値での提供とあって用意した80キロを完売しました。

ステージ上では、歯舞小中学校中学生によるよさこい披露や、瑠璃瑠獅子神楽保存会による演舞、おたのしみ抽選会、餅まきなども大盛況で、祭りは最後まで賑わいをみせました。

「歯舞こんぶ祭り」は、例年8月最終日曜日に開催していましたが、今年からこの日を「漁休日」として固定化することが決定しています。来年以降も地域に根付き、地域に愛されるイベントとなるよう、漁協や地域住民、マリンビジョン協議会が一体となり取り組んでいきたいと思ひます!



<歯舞小中学校中学生によるよさこい>



<瑠璃瑠獅子神楽保存会の演舞>



<盛り上がった餅まき>

## 長崎県上五島町漁協との人事交流

今年で7年目となる長崎県上五島町漁協との人事交流事業で、7月22日(月)～26日(金)の5日間、歯舞漁協市場部の小平課長代理が上五島町漁協に派遣され研修を受けてきました。

研修内容は、主に鮮魚の取り扱いを中心とした販売部の研修のほか、漁業体験型事業や養殖研修などです。上五島町漁協では、10年程前から漁業者の高齢化や水揚げの減少により組合運営に危機感を感じ、漁業体験型事業や、ヒラスや伊勢えびを浜から高値で買い取りお中元・お歳暮で販売する魚価対策、厳選した鮮度規格に神経抜き活めを加えた「上五島箱入り娘」というブランド商品の販売など、様々な取り組みを行っていて、大変参考になる研修となりました。

これまで行ってきた人事交流や、お互いの加工品の販売を発展させ、いつか「上五島町の姉妹漁協・歯舞漁協直送」というキャッチコピーで上五島町の鮮魚と歯舞の魚介類を合わせて販売し、九州の人にも歯舞ブランドを広めることができると願っています。



<真蛸の荷受・選別作業>



<活魚出荷作業>



<神経抜き>

## 「地引き網体験」「アサリ掘り体験」に小学生が挑戦！

歯舞地区マリンビジョン協議会が地域の基幹産業である漁業について学んでもらおうと継続実施している「水産教室」で、今年も「地引き網体験」「アサリ掘り体験」が開催されました。

7月18日(木)の地引き網体験は友知海岸で行われ、歯舞小中学校小学3、4年生33人が参加しました。子供たちは、沖に仕掛けた網を「ヨイショ！ヨイショ！」と大きな掛け声をあげて引き揚げ、網の中でピチピチと飛び跳ねるイワシやカレイに、大はしゃぎの様子でした。

24日(水)のアサリ掘り体験はトーサムポロ漁港で行われ、歯舞小中学校小学1、2年生39人と花咲小学校1年生45人が参加しました。クマデとバケツを手にアサリを探す子供たちの表情は、真剣そのもの。大きなアサリを見つけるたびに、子供たちからは大きな歓声があがりました。



<大きな掛け声とともに懸命に網を引く子供たち>



<たくさん魚を拾って大はしゃぎ>



<アサリ掘り体験 開会式の様子>



<バケツに山盛りのアサリがとれました>

## 編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

